



美しい 県土づくりNEWS

目次

- 2 高田松原津波復興祈念公園の基本構想を策定しました！
- 4 沿岸3地域の児童をいわて花巻空港へ招待しました
- 5 宮古・盛岡・秋田横軸連携推進フォーラムを開催
- 7 東日本大震災津波からの復旧・復興に関する要望を行いました
- 8 いわて復興プロジェクト「住まいの展示相談会」を開催します！
- 9 平成26年度「国土と交通に関する図面コンクール」開催のお知らせ

2014年

7月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第120号
平成26年7月31日発行
編集 県土整備企画室



三陸復興

県営災害公営住宅（山田町豊間根アパート）の入居開始！

～山田町で初めての災害公営住宅が完成～

山田町内では災害公営住宅第1号となる県営豊間根アパート(72戸)が完成し、7月23日(水)に鍵の引き渡しを行い入居が始まりました。

この日を心待ちにしていた入居者は、鍵を受け取るとさっそく部屋の中を確認するとともに荷物を運び入れていました。

現在、整備戸数72戸に対し28戸の空室があるため、引き続き入居者募集を行っています。今後も被災された方々の一日も早い暮らしの再建がなされるよう取り組んでいきます。



高田松原津波復興祈念公園の基本構想を策定しました！

都市計画課

本県では、東日本大震災津波で甚大な被害を受けた陸前高田市高田松原地区において、復興祈念公園の整備を計画しており、国土交通省東北地方整備局及び陸前高田市と連携して、復興祈念公園の基本理念や基本方針、公園イメージ等を定める基本構想を検討してきました。

このたび、学識経験者等で構成した有識者委員会（委員長 東京工業大学大学院 中井検裕教授）による検討並びに市民シンポジウム及びパブリックコメントによる一般の方のご意見を反映し、「高田松原津波復興祈念公園基本構想」を策定し、6月26日に公表しました。

なお、今年度は引き続き8月から具体的な空間構成等を定める基本計画を検討していきます。

○基本構想策定に至る経緯

被災前	総合公園「高田松原公園」として供用	面積 69.7ha
H23年3月11日	東日本大震災発災・市街地とともに甚大な被害を受ける	
8月11日	メモリアル公園等整備事業を県復興実施計画に位置付け	
12月7日	陸前高田市への国営メモリアル公園配置を県議会で表明	
H24年7月3日	「高田松原地区震災復興祈念公園構想会議」設置(県・市)	
H25年2月26日	「高田松原津波復興祈念公園」告示(県決定)	面積 124.2ha
3月8日	「構想会議」が震災復興祈念公園のあり方に関する「提言」公表	
9月26日	「岩手県における復興祈念公園基本構想検討調査有識者委員会」設置	
	基本構想の検討着手	

○基本構想の概要

①基本理念

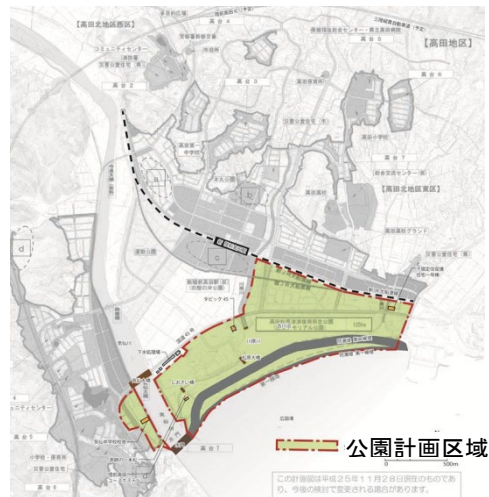
奇跡の一本松が残ったこの場所で
 犠牲者への追悼と鎮魂の思いとともに
 震災の教訓とそこからの復興の姿を
 高田松原の再生と重ね合わせ未来に伝えていく



奇跡の一本松と旧ユースホステル

②基本方針

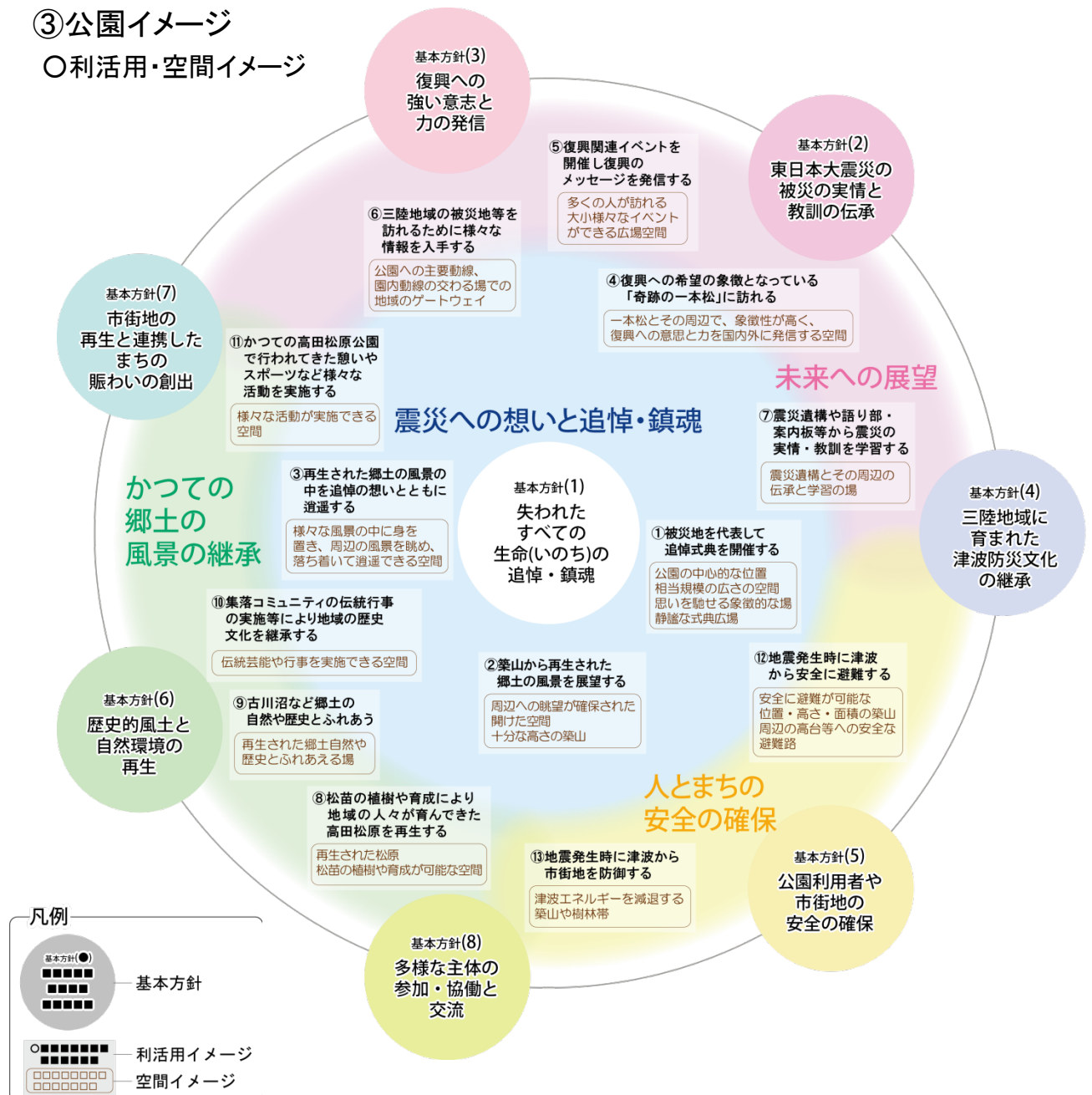
- ① 失われたすべての生命(いのち)の追悼・鎮魂
- ② 東日本大震災の被災の実情と教訓の伝承
- ③ 復興への強い意志と力の発信
- ④ 三陸地域に育まれた津波防災文化の継承
- ⑤ 公園利用者や市街地の安全の確保
- ⑥ 歴史的風土と自然環境の再生
- ⑦ 市街地の再生と連携したまちの賑わいの創出
- ⑧ 多様な主体の参加・協働と交流



高田松原津波復興祈念公園 位置図

③公園イメージ

○利活用・空間イメージ



沿岸3地域の児童をいわた花巻空港へ招待しました

花巻空港事務所

7月15日、17日、18日の三日間にわたり、花巻空港開港50周年記念事業の一環として、沿岸3地域（久慈・山田・大船渡）の児童合計106名をいわた花巻空港へ招待し、普段は入れない空港敷地内での見学や、航空会社による航空教室、定期便との記念撮影等を行う「いわた花巻空港探検ツアー」を開催しました。

この取組は、沿岸で暮らしている児童に、花巻空港に親しみを持ってもらうとともに、東日本大震災津波発災時には災害拠点空港として活用されたことを知ってもらうことを目的に企画したものです。

花巻空港では、この他にも、9月23日（火・祝日）に開催される「いわた花巻空港スカイフェスタ2014」で、航空自衛隊「ブルーインパルス」の展示飛行が行われるなど、50周年を記念するさまざまな事業が実施される予定です。



化学消防車への乗車体験
（大船渡市立立根小学校4年生）



防災ヘリ「ひめかみ」の見学
（山田町立船越小学校5年生）



客室乗務員さんによる航空教室
（久慈市立久慈湊小学校6年生）



いわた花巻空港のキャラクター「はなっぴー」
がサプライズで登場した日もありました。

宮古・盛岡・秋田横軸連携推進フォーラムを開催

道路環境課

平成26年7月22日、「宮古・盛岡・秋田横軸連携推進フォーラム」を盛岡市のサンセール盛岡で開催しました。

このフォーラムは、一般国道106号、46号の沿線市町村における生活向上及び地域活性化のために、宮古盛岡横断道路（国道106号）、盛岡横手道路（国道46号）の利活用方法や、三陸沿岸地域と内陸部及び日本海を結ぶ連携のあり方について、岩手・秋田両県の関係者と沿線住民が一緒に考えることを目的に、宮古・盛岡・秋田間国道整備促進期成同盟会ほか2団体の主催により開催され、岩手・秋田両県、県道路利用者会議及び県高規格幹線道路整備促進期成同盟会も共催しました。

当日は、主賓了参議院議員、達増拓也岩手県知事をはじめ約300名が参加しました。国土交通省東北地方整備局副局長の安藤淳様と㈱日刊岩手建設工業新聞社取締役の宮野裕子様による基調講演、沿線市町村等による意見交換が行われ、参加者は高規格道路などの横軸道路の重要性を再確認するとともに、高度な道路管理の必要性についても強く認識しました。県では、このフォーラムの成果をもとに、国道106号の整備とともに、指定区間に編入し、国道46号等と併せ、国で一体的に管理するよう更に強く訴えていきます。



◆ 基調講演

国土交通省東北地方整備局
安藤 淳副局長
「道路を取りまくる最近の話題」

「人口減少に対応するための拠点間ネットワーク形成や、道路、鉄道、港湾といったインフラの多重性・代替性の確保はこれからの日本の課題であり、道路整備は重要性を増していく。また、道の駅は重要な観光拠点であり、関係機関との連携による活性化が期待される。」



◆ 基調講演

株式会社日刊岩手建設工業新聞社
宮野 裕子取締役
「横軸連携推進による期待と課題」

「秋田市と宮古市間の約210kmを3時間で行き交うことができれば、岩手・秋田両県の産業振興や人口減少の歯止めにつながると考えている。三陸海岸から見える朝日を楽しみ、そのまま国道106号、46号を利用して秋田県沿岸に向かい、夕方には男鹿半島から見える夕日を楽しめる、そのような日が来ることを願っている。」

◆ 宮古・盛岡・秋田間の地域高規格道路整備と地域連携について

～沿線市町村等による意見交換～

コーディネーター 山本 正徳宮古市長

パネリスト

門脇 光浩仙北市長

佐藤 信逸山田町長

石原 弘田野畑村長

鎌田 潔秋田市副市長

久米 正雄大仙市副市長

佐野峯 茂滝沢市副市長

櫻田 久耕雫石町副町長

佐藤 悟岩手県県土整備部長



意見交換では、各市町村が抱える課題を踏まえ、更なる国道整備の推進を望む声が多く挙げられました。



達増拓也岩手県知事による挨拶



約 300 人の来場者で会場は熱気に包まれました

【主 催】

宮古・盛岡・秋田間国道整備促進期成同盟会、国道106号指定区間編入促進期成同盟会
国道106号地域高規格道路整備促進期成同盟会

盛岡市、滝沢市、雫石町、岩泉町、山田町、田野畑村、宮古市、秋田市、大仙市、仙北市

【共 催】

岩手県道路利用者会議、岩手県高規格幹線道路整備促進期成同盟会、岩手県、秋田県

【後 援】

国道46号「地域高規格道路」田沢湖・協和間整備促進期成同盟会

秋田・岩手地域連携軸推進協議会、NPO法人秋田岩手横軸連携交流会

東日本大震災津波からの復旧・復興に関する要望を行いました

～被災4県の知事による合同要望を実施～

県土整備企画室

平成26年7月10日に、「東日本大震災及び原子力災害からの復旧・復興のための財政支援の継続と財源の確保等」を求め、被災4県の知事による要望活動を実施しました。

今回の要望は、東日本大震災津波からの復旧・復興に向けて、甚大な被害を受けた被災地では、引き続き国等の強力な支援が必要であることから、「集中復興期間の延長と特例的な財政支援の継続」、「復興交付金の制度継続と柔軟な運用」、「国が行う復旧・復興事業の整備促進と全面的な財政支援の継続」等について、達増拓也岩手県知事、村井嘉浩宮城県知事、青山祐治青森県副知事、村田文雄福島県副知事が国等に対して合同要望を行いました。

県では、被災地における復興を強力に推進するため、引き続き、国に働きかけていきます。



復興庁（根本匠復興大臣）への要望状況



自民党（大島理森復興加速化本部長）への要望状況



財務省（愛知治郎財務副大臣）への要望状況



国土交通省（土井亨国土交通大臣政務官）への要望状況

いわて復興プロジェクト

「住まいの展示相談会」を開催します！

建築住宅課

東日本大震災津波で被災された方々に安心して生活ができる住宅の再建を進めていただくため、今年度も沿岸3市（大船渡市、宮古市及び釜石市）において、**住まいの展示相談会**を開催します。

この**展示相談会**は、地域型復興住宅や住宅事業者等の取組みや紹介・展示を行うとともに、住宅取得・建築に関する各種支援制度の情報提供や個別相談を実施するものです。

住宅の専門家（建築士）や住宅事業者に個別に相談できる機会ですので、お気軽にお越しください。

展示相談会の内容

- ・地域型復興住宅に関する展示・相談
- ・住宅メーカー等事業者による展示・相談
- ・住宅再建に関するセミナー（公的支援制度・災害復興住宅融資・被災者ローン減免制度）
- ・住まいに関する個別相談（行政、(独)住宅金融支援機構、建築士、弁護士など）



〈展示会場の様子〉



〈相談の様子〉

展示相談会日程

開催市	開催日	時間	会場
大船渡市	8月9日（土） 8月10日（日）	10:00~16:00	リアスホール （大船渡市民文化会館）
宮古市	9月6日（土） 9月7日（日）	10:00~16:00	シーアリーナ （宮古市総合体育館）
釜石市	11月8日（土） 11月9日（日）	10:00~16:00	シープラザ釜石内 シープラザ遊

平成26年度「国土と交通に関する図画コンクール」開催のお知らせ

～ 作品募集の案内 ～

県土整備企画室

国土交通省が、「国土と交通に関する図画コンクール」の応募作品を募集しています！
 本コンクールは、人々の生き生きとした暮らしを支え、安全・安心で豊かな経済社会を実現するための国土交通省の様々な取組について、明日を担う子供たちに理解を深めていくきっかけとなることを期待し、実施するものです。
 作品の募集は10月8日まで受け付けているので、応募してみませんか。

国土と交通に関する

作品募集

図画コンクール

人々の生き生きとした暮らしを支え、安全・安心で豊かな経済社会を実現するための国土交通省の様々な取組について、明日を担う子供たちに理解を深めていただくきっかけとなることを期待して、「国土と交通に関する図画コンクール」を実施します。

応募資格
 全国の小学1年生から6年生が対象です。

国土交通省広報課の締切
 平成26年10月8日(水)必着

※詳しくは国土交通省のホームページをご覧ください。

【主催】国土交通省	【協賛】一般社団法人建設広報協会
【後援】文部科学省(予定)	一般財団法人運輸振興協会
	一般財団法人国土計画協会

国土交通省 [お問合せ先]
 大臣官房広報課 広報第一係、広報第二係
 TEL 03-5253-8111 (内線 21-526、21-527)

応募規格・応募方法等は、国土交通省のホームページで確認願います。
<http://www.mlit.go.jp/kids/index.html>